

# 京都府幼児教育センターリーフレットについて

令和7年3月11日  
学 校 教 育 課

下記のとおり報告します。

## 記

### 1 趣 旨

令和2年度に設置した京都府幼児教育センターにおいて、「幼児教育の質の向上」と「円滑な幼小接続」を一層推進するため、センター設置5年の経過を機に、園・校の関係者に向けて啓発のための新たなリーフレットを作成する。

### 2 概 要

ねらい	京都府における「幼児教育の質の向上」と「円滑な幼小接続」を図る。 (特に、架け橋期における幼小の円滑な接続を図る。)
内 容	【幼児教育の質の向上】 ◆ 主体性を育む教育・保育を実現する上で重要となる6つの視点を明記
	【円滑な幼小接続】 ◆ 幼児教育施設の保育者と小学校の教員が互いの教育・保育を理解できるよう、視点の違いを明示 ◆ 幼児教育を通してはぐくまれる資質・能力を基礎として、小学校以降の生活や学習につなぐことの重要性を明示 ◆ 架け橋期における円滑な幼小接続を推進するためのステップを提示 ◆ 幼児期の終わりまでに育てほしい姿(10の姿)を通して、遊びの中に学びの芽が育っていることや、幼児期にはぐくまれた資質・能力が小学校につながっていることを、具体的場面や姿で解説
	【京都府幼児教育センターの紹介】 ◆ 「つながり」と「広がり」の視点で一体的に幼児教育を推進するセカンドステージの目指す姿を提示 ◆ 地域の実情に応じて市町村が主体的に幼児教育を推進するための伴走支援や、市町村のネットワーク構築の推進など、京都府幼児教育センターの役割を説明
配付対象	● 公立幼稚園・認定こども園・保育所・小学校・中学校・義務教育学校(京都市を除く。)、府立学校、市町(組合)教育委員会、市町村幼児教育担当部局、幼児教育関係団体、教育局、総合教育センター

## 京都府幼児教育センターについて

- ◆京都府の幼児教育推進の拠点として、京都府教育庁学校教育課、文化生活部文教課、健康福祉部こども・子育て総合支援室が一体となり、令和2年4月に開設しました。
- ◆府内の幼児教育施設（幼稚園、保育所、認定こども園）において、質の高い教育・保育を実施することができるよう、また円滑な幼小接続を図ることができるよう、各種事業を推進しています。



### SECOND STAGE の目指す姿（令和7～10年度）

～「つながり」と「広がり」の視点で一体的に幼児教育を推進～

- ◆幼児教育の質の向上に向けた教育・保育を支援するとともに、幼児教育で育んだ資質・能力を「架け橋期のカリキュラム」などを通して小学校の学びへつなぐことを支援します。
- ◆市町村が地域の実情に応じた指導助言の実施や、円滑な幼小接続を主体的に推進することができるよう支援するとともに、市町村同士がつながり、優れた取組を幅広く共有できるネットワーク構築を推進します。

### 幼児教育の質の向上や幼小の円滑な接続のため 幼児教育施設・小学校・市町村の主体的な取組を支援します

#### 助言・支援

架け橋期コーディネーターが、市町村の幼児教育担当者とともに公私立の幼児教育施設及び小学校を訪問し、保育・授業参観等を通して、各園校の実態に応じた助言や、実効性のある架け橋期のカリキュラムの作成を支援します。

#### 研修

市町村などが主催する研修会で、架け橋期コーディネーターが講演・助言等を行います。

#### 研究

幼児期の遊びを通して育んだ資質・能力を小学校教育の学びにつなぐ実証事業を実施し、研究成果の普及を図ります。

#### 情報発信

市町村のネットワークづくりに向けて、幼児教育に関する国の動向や研究成果、公開保育に関する情報などを発信します。

#### 幼児教育に関する情報

##### 京都府幼児教育センターホームページ

架け橋期コーディネーターの派遣に関する情報や、保育者向け研修情報など役立つ情報を掲載しています。



#### お問い合わせ先

京都府幼児教育センター（京都府教育庁指導部 学校教育課内）  
〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入数ノ内町（第3号館）  
電話：075-414-5672 FAX：075-414-5837



# 京都府 幼児教育センター



## 幼児教育の 質の向上のために

育ち合う  
人的環境



発達を促す  
環境の構成



信頼感のある  
人的環境



魅力ある  
物的環境

主体性を育む  
教育・保育

幼児理解からの  
出発

保育の質を  
高める研修



家庭や  
地域との  
関係づくり



省察と  
対話的な  
振り返り



緊密な連携・協働

専門性の向上



# 幼児教育

# 育ちと学びをつなぐために

～幼児教育と小学校教育を知り、資質・能力を育む～

# 小学校教育



遊びを通して「生きる力」の基礎を培う

- ・知識及び技能の基礎
- ・思考力・判断力・表現力の基礎
- ・学びに向かう力・人間性

## 資質・能力

幼児教育を通して育まれた資質・能力を基礎として小学校以降の生活や学習につなげます。

- ・知識及び技能
- ・思考力・判断力・表現力
- ・学びに向かう力・人間性

学習を通して生きる力を育む

学びの芽生え

保育者・教師の交流・研修

- ・保育・授業参観と事後の協議、日常的な情報交換
- ・合同学習等に関する事前打ち合わせや振り返り
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有して行う合同の研修会

自覚的な学び

方向目標

人と人とをつなぐ

幼児と児童の交流

- ・おもちゃづくりや学校探検等の生活科の合同学習
- ・児童が園で行う絵本の読み聞かせや共同の栽培活動
- ・運動会や学習発表会等の学校行事への参加や避難訓練等の合同行事

到達目標

経験カリキュラム

カリキュラムをつなぐ

幼児期の全体的な計画から架け橋期のカリキュラムへ

- ・園と小学校とが相互の育てたい子ども像を合同で検討
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、生活科を中心に合科的・関連的な指導を行う架け橋期のカリキュラムを協働して作成
- ・要録【幼稚園幼児指導要録・保育所児童保育要録・幼保連携型認定こども園園児指導要録】の内容共有と、子どもの実態に応じた架け橋期のカリキュラムの見直し・修正

教科カリキュラム

5領域  
(健康・人間関係・環境・言葉・表現)  
を総合的に展開

各教科等の学習内容を系統的に学ぶ

幼稚園・保育所・認定こども園

## 架け橋期

(年長・小学校1年生)

小学校

## 遊びの中に見られる学びの芽

幼児期の教育は遊びを通じた学びです。遊びの中にどのような学びがあるかを知ることが大切です。

### 「はなびたいかい」の遊びの中で

楽しかった夏祭りから発想を得て、年長児のみんなは「はなびたいかい」を計画。釣りや食べ物コーナー遊びに園のみんなを招待した後、花火が打ち上がりました。

#### 遊びの中の学び

花火の出し方、音、タイミングなどを相談し、試行錯誤しながら遊びを盛り上げます。思いや考えを伝え合い、表現するなど「思考力・判断力・表現力の基礎」が育っています。

### しりとり遊びの中で

降園前のひと時「りんご」「ごりら」「らっぱ」「はせり」…思いついた言葉をつなげ、しりとりをしています。最後はみんなで一緒に読み合って、言葉のリズムも楽しめます。

#### 遊びの中の学び

知っている言葉を伝え、つなぐ楽しさを味わいながら、語句の量を増やし、文字にも関心をもちます。できたりとりを友達と一緒に読むことで、一体感を味わっています。

## 幼児教育の連続性を意識したカリキュラム

遊びと学びの「つながり」を意識した授業改善に取り組むことで、「主体的・対話的で深い学び」を実現します。

### 合科的・関連的な授業（スタートカリキュラム）

「今何人？」「4人！」「次は8人になるで！」慣れ親しんだじゃんけん列車の遊びの中で、担任の数を意識した言葉かけが子どもの気付きを引き出します。



#### 幼児期の育ちとのつながり

秋になると多くの園で行う芋掘り。「長いつるだね」「どっちが大きい？」「5個ほったよ」など、生活や遊びの中で数量の感覚が身に付いています。

### 幼児教育とのつながり（生活科）

「どうやったら車がよく走るかな」グループのめあてに向かって話し合います。「坂道作ろう！」「そっち持って」と相談しながら角度や長さを調整します。



#### 幼児期の育ちとのつながり

個々の興味関心から遊びが始まりクラス全体の取組になっていきます。グループの中で「景品作るね」「看板は私が書くよ」など協力する楽しさや大切さを感じ成長しています。

【実践】R5,6幼児教育と小学校教育の  
カリキュラムコンサルテーション事業  
推進校発表動画

宇治市立  
南部小学校



福知山市立  
昭和小学校

